

平成 19 年 10 月 18 日

各 位

不動産投信発行者名
東京都千代田区丸の内二丁目7番3号
東京ビルディング20階
産業ファンド投資法人
代表者名 執行役員 倉都康行
(コード番号 3249)

資産運用会社名
三菱商事・ユービーエス・リアルティ株式会社
代表者名 代表取締役社長 廣本裕一
問合せ先 常務執行役員 南 俊一
TEL. 03-5293-7091

「産業ファンド投資法人」の上場のお知らせ

産業ファンド投資法人（以下「本投資法人」といいます。）は、本日、株式会社東京証券取引所不動産投資信託証券市場に上場いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

本投資法人は、あらゆる産業活動の基盤となり、中長期にわたり安定的な利用が見込まれる、物流施設及び工場・研究開発施設等並びにインフラ施設（以下、総称して「産業用不動産」といいます。）に投資し、収益の安定的な確保と運用資産の着実な成長を図ることにより、投資主価値の継続的な拡大を目指します。

産業用不動産を投資対象としたREITの上場は日本で初めてであり、その特徴は以下の通りです。

①新しいアセットクラス

本投資法人は、物流施設のみならず、従来の不動産投資信託が投資対象としていなかった、工場・研究開発施設等、更にはインフラ施設に投資していくことにより、不動産投資信託の新分野を確立し、投資家に対して新たな投資機会を提供したいと考えています。

②外部成長戦略

本投資法人は、独自のネットワークだけでなく、スポンサーである三菱商事株式会社の産業分野における幅広いネットワークを物件取得に活用します。また、物件取得において産業・インフラ分野に知見のある日本政策投資銀行からも支援を受けています。

③実績ある資産運用会社

本投資法人の資産運用は、三菱商事・ユービーエス・リアルティ株式会社（以下、「三菱商事UBSリアルティ」といいます。）が受託します。なお、三菱商事UBSリアルティが資産運用を受託する投資法人は、本投資法人が2つ目であり、これまでの資産運用を通じて蓄積したネットワークや運用管理ノウハウを本投資法人の資産運用に活用して参ります。（注）

（注）三菱商事UBSリアルティは、三菱商事株式会社とユービーエス・エイ・ジーとの合弁で設立され、平成14年以来国内初の商業施設特化型REITである日本リートファンド投資法人の運用を委託されており、その運用資産を上場以降約5年間で1.0倍超に成長させたほか、その運用においても様々な新規の取り組みを行ってきました。

* 本資料の配布先 : 兜倶楽部、国土交通記者会、国土交通省建設専門紙記者会

* 本投資法人のホームページ : <http://www.iif-reit.com/>